



なぞって練習

庭に近い室であつたか
ら、横の引き戸を開
けて二人で外をながめ
るのであつた。小さい
庭にしゃれた姿の竹が
立っていて、草の上の
露はこんなところのも
二条の院の前裁のに変
わらずきらきらと光つ
ている。虫もたくさん
鳴いていた。壁の中で
鳴くといわれて人間の
居場所に最も近く鳴
くものになっている蟋蟀
でさえも源氏は遠くの
声だけしか聞いていな
かつたが、

■ 参考

※前裁【せんざい】

※蟋蟀【じゆんせう】

(青空文庫のフリガナより)